

新たな総合計画を 策定します

現行の総合計画である「桐生市新生総合計画」は、平成31年度までで計画期間が終了します。
市では、平成32年度を初年度とする新たな総合計画を策定し、今後の中長期的な視点に立って総合的かつ計画的にまちづくりを進めます。

問い合わせは、企画課企画担当（☎内線525）へ。

総合計画とは

総合計画は、市におけるまちづくりの指針となるもので、「桐生市総合計画条例」で市の最上位の計画と位置付けられています。

計画の名称

計画の内容と合わせて、今後検討を行います。

名称が決定するまでの間は「（仮称）次期桐生市総合計画」とします。

計画の構成と期間

総合計画は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3階層で構成します。

▼基本構想…8か年

市のまちづくりの基本テーマ（理念）、将来都市像およびこれらを実現するための施策の大綱を示すもので、市が「目指すべきまちの姿」を定めるものです。

期間Ⅱ平成32（2020）年度～平成39（2027）年度

▼基本計画…4か年

基本構想を実現するための基本的な施策およびその目標を総合的かつ体系的に示すものです。

期間Ⅱ前期…平成32（2020）年度～平成35（2023）年度／後期…平成36（2024）年度～平成39（2027）年度

▼実施計画…基本3か年

基本計画に基づく施策を計画的に実施するため、財政的な裏付けをもって事務事業の具体的な内容を定めるものです。毎年度、ローリング方式により見直しを行います。

計画の構成と期間イメージは、次ページの図をご覧ください。

策定体制

市職員による専門の検討委

員会を設け、市の全組織を挙げて計画策定に当たります。
また、市民意識調査（アンケート）や市民提言、意見提出手続（パブリックコメント）を実施するとともに、市長の諮問に依拠して総合計画を審議する「桐生市総合計画審議会」の市民委員を公募するなど、計画策定の各段階において市民参画の機会を設け、広く市民意見を聴取し、反映するよう努めます。

策定スケジュール

平成30・31年度の2か年で策定します。

今年度は、基礎調査や市民意識調査などを実施するとともに、桐生市総合計画審議会へ総合計画の策定について諮問し、基本構想および基本計画の検討を行います。

来年度には、意見提出手続の実施、総合計画審議会からの答申などを経て、市議会に基本構想の策定に関する議案を提出する予定です。

皆さんのご意見をお聞きます

市民意識調査や市民提言募集、意見提出手続を実施する際は、広報きりゅうなどでお知らせしますので、ご協力をお願いします。

計画策定の基本的な考え方

市政運営の根幹となる計画

これまで5か年だった基本計画の計画期間を4か年にして、市長任期と整合を図ることで、市長公約を可能な限り反映した計画とします。

期間を短くすることで、より柔軟に社会経済情勢や環境の変化に対応できる計画とします。

また、基本計画の施策体系と個別の行政分野に関する計画との関連性を明確にします。

引き続き人口減少問題を最重要課題に

「桐生市新生総合計画」に引き続き、人口減少問題を最重要課題として位置付けます。人口減少克服および地方創生を目的とする「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を総合計画の基本計画における重点施策として位置付け、その内容を包含した一体的な計画として策定します。

目指す計画のかたちは

■地域の特性を生かす
伝統や文化、自然や産業な

ど各地域が持つ特性を生かし、魅力の向上と活性化を図りながら、全市域の一体的な発展を目指す計画とします。

■検証可能で実効性を高く

計画の成果・効果を的確に検証することができ、事業内容の見直しや予算配分などに検証結果を適時適切に反映できる計画を目指します。

■分かりやすく

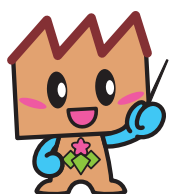
構成や表現などが簡潔明瞭であり、誰にとっても分かりやすい計画を目指します。

新たな視点を取り入れます

「幸せリーグ」(※1)の研究結果を踏まえ、市民意識調査において幸福実感度の把握を行い、市民の幸福実感の向上を目指した計画づくりに努めます。

また、「持続可能な開発目標(SDGs)」(※2)達成に向けた観

点を取り入れた計画づくりに努めます。



計画の構成と期間イメージ

年度	平成32 (2020)	平成33 (2021)	平成34 (2022)	平成35 (2023)	平成36 (2024)	平成37 (2025)	平成38 (2026)	平成39 (2027)
基本構想 8か年								
基本計画 4か年	前期				後期			
実施計画 基本3か年 毎年見直し								

※1 幸せリーグ(住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合)は、幸福度を指標にまちづくりを進めている東京都荒川区が発起人代表となり、平成25年6月に設立された連合体で、桐生市は設立当初より参加しており、誰もが幸福を実感できる地域社会を築いていくことを目指し、参加する自治体が連携して研究を行っています。

※2 SDGs(Sustainable Development Goals)は、平成27年9月の国連サミットで採択された、平成42年を期限とする国際社会全体で達成すべき17の開発目標であり、全ての関係者(先進国、途上国、民間企業、NGO、有識者など)の役割を重視し、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものです。

こんにちは！
市長です



昨年3月に、市長としては19年ぶりに姉妹都市であるアメリカ合衆国コロンバス市を訪問しました。その際、教育委員会にミドルスクールとの交流活動やホームステイを含めた中学生海外派遣の受け入れをお願いし、ご協力いただけることになりました。

実施に向けて準備を進める中で、多くの中学生や保護者に関心を持ってもらい、定員を超える申し込みをいただきました。選挙の結果、各市立中学校から1人ずつ、10人の生徒を9月14日から19日までコロンバス市に派遣します。

派遣を前に、市役所での結団式や4回の事前研修会も行う予定です。

コロンバス市での交流活動を通じて、海外文化への理解を深め、国際感覚を養い、将来世界で活躍する人材になることを期待しています。